

講座名（専門科目名）	病理学（幹細胞病理学）	
担当教授	仲野 徹	
研 究 内 容		
「いろいろな細胞はどうやってできてくるのだろうか？」ということを中心に、発生・分化におけるエピジェネティクス制御、特に DNA メチル化の制御機構を中心にした研究を展開しています。		
著 者	研 究 業 績	掲載雑誌・巻・号・頁等
Shiromoto Y, et al.	GPAT2, a Mitochondrial Outer Membrane Protein, in piRNA Biogenesis in Germline Stem Cells	RNA, in press
Nakamura T, et al.	PGC7 binds histone H3K9me2 to protect against conversion of 5MeC to 5HmC in early embryos	Nature, 486: 415-9, 2012
Kuramochi-Miyagawa S, et al.	MVH in piRNA processing and gene silencing of retrotransposons	Genes Dev, 24:887-892, 2010
Kuramochi-Miyagawa S, et al.	DNA methylation of retrotransposon genes is regulated by Piwi family members MILI and MIWI2 in murine fetal testes.	Genes Dev, 22:918-30, 2008
Nakamura T, et al.	PGC7/Stella protects against DNA demethylation in early embryogenesis	Nature Cell Biol, 9: 64-71, 2007
学生への指導方針	学生に対する要望	備 考
科学のフロンティアでは皆が平等であるという認識のもと、それぞれの興味やバックグラウンドに応じて指導します。徹底したディスカッションをおこないつながりながら研究を進め、その過程において、科学における基本的な考え方を身につけるとともに、科学のおもしろさや奥深さを知ってもらいたいと考えています。	協調性を持ちながらも自主独立の精神を保ち、研究室を明るくいっしょに作り上げてもらいたいと考えています。健全な好奇心を持った勤勉な人を望んでいます。	連絡先 tnakano@patho.med.osaka-u.ac.jp ホームページ <a href="http://www.fbs.osaka-u.ac.jp/labs/nakano/">http://www.fbs.osaka-u.ac.jp/labs/nakano/</a>